

研修報告書

令和 5 年 5 月 1 日

長浜市議会議員 中川 勇 様

長浜市議会議員 岩川 信子

私が出席した次の研修の結果について報告します。

記

1. 研修名 湖北長浜の地域医療と病院再編を考える
2. 研修日時 令和 5 年 4 月 29 日（土）14 時～16 時
3. 研修場所 臨湖（多目的ホール）
4. 研修テーマ どうする長浜、これからの医療を考える
5. 講師 城西大学経営学部教授 伊関友伸氏

6. 調査内容感想等

・研修の目的

病院再編問題を市民と共に考え、市民にも当事者意識を持って頂くように、参加型勉強会を開くこととした。

・研修内容

- ① 病院経営のプロが語る、持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドラインの方向性について
- ② 人口減少のまち・医師の働き方改革、将来を見越した病院のあり方
- ③ どのような経営がよいのか 独自の調査から紐解く

・研修の結果を本市議会にどのように反映させるか

○病院の統合・再編事例の成功例からは、何より医師が集まることにより

医療提供体制が安定しメリットが読み取れる、よって早急に医療再編を

長浜市は取り組むべきである

○今後本市も本格的に少子高齢化社会となり、看護師不足にもなりつつ

全国的に勤務する看護師も平均年齢が高い病院も少なくなく定年退職し将来、

医療提供をできなくなる事を危惧する。

この事を踏まえ地域の産業として若者の雇用の場、産業振興の観点で病院や

福祉施設を考えていくべきである

○長浜市の弱点である療養・回復期を担う病院を作るべきと訴えもあったように、

湖北病院は過疎債を活用してローコストで個室化、陰圧対応、感染症外来設置、

動線の考慮など感染症に対応した病院として建て替えを早急に行うべき、

また古い病院では、医師や看護師は勤務しないとの事にも共感し、

職員のアメニティ環境向上も努めるべきである

○経営形態では、市立長浜病院が3つの病院を一体運営する独立行政法人化と

赤十字病院は市立2病院を運営する指定管理制度を求めている、この場合職員の

公務員でなくなることから、抵抗感が強くなることから、長浜市の医療職員が

長浜市を去る危険性を指摘されていた。一方、独立行政法人化については、

自治体病院の経営を悪化させる要因である職員定数の制約がなくなり、

「職員雇用の弾力化を目指せる」と講演された。理解すると共に、今後色んな経営形態の利点、欠点を示し慎重に経営形態について検討すべきである。